



今年度「かっこう」の最終号となります。毎回お読みいただき、本当にありがとうございました。来年度の「かっこう」も、よろしくお願いいたします。

センター研修説明会

2/21 の「センター研修等説明会」において、来年度の研修等の説明とともに、『センター研修 2018』を配布しました。職員の皆さんで御覧いただき、悉皆研修の申込み準備と、希望研修の検討をお願いいたします。

新学習指導要領を見据え、「主体的・対話的で深い学び」を意識した研修に加え、プログラミング教育研修を実施します。

また、これまで実施してきた10年経験者研修を「中堅教諭等資質向上研修」と改め、中堅教諭に求められる教員の資質能力を明確化し、その目標に迫る研修を実施します。併せて、実施時期を弾力化し、免許更新との重複による負担軽減等も考慮しました。



新学習指導要領に向けて⑤

小学校社会科

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて

社会科においては、「単元のまとまりを見通しながら工夫すること」が大切です。具体的には、単元の中心となる学習問題を追究・解決する問題解決的な学習の充実と、単用の後半や終末において子供たちがこれからの社会の在り方や自分たちの生活について考える学習の充実が求められます。

授業改善に向けた二つの視点

1 社会的事象の見方・考え方を働かせる

「社会的事象の見方・考え方」とは、「社会的事象を位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係に着目して(視点)、社会的事象を捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること(方法)」です。

2 説明したり議論したりする活動を工夫する

考えたり判断したりしたことについて、論理的に説明したり、立場や根拠を明確にして議論したりするなど、言語活動に関わる学習を一層充実させることが求められています。

ちょっと一息【道徳コーナー】

考え、議論する道徳

今回は、児童生徒への評価についてです。児童生徒への評価は、自らの成長を実感し、意欲の向上につなげていくものです。

- 個々の内容項目ごとではなく、**大きくくりなまとまり**を踏まえた評価とすること。
- 他の児童生徒との比較による評価ではなく、児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、**励ます個人内評価**(※)として行うこと。
- 学習活動において児童生徒がより**多面的・多角的な見方**へと発展しているか、**道徳的価値の理解を自分自身との関わり**の中で深めているかといった点を重視することが、求められています。

どのような気持ちから行動に移したかを見取るのは難しいですね。例えば、満員電車で席を譲った時に、思いやりから？公共の精神？礼儀？それとも譲りなさいと言われたから？人の心の中はのぞけないですね。そのため、内容項目、道徳的価値について、評価することは出来ないですね。

ですから、道徳的価値について考える道徳科の授業の中で、どのように学習活動に取り組んだのかを見取り、それを評価(励まし)とします。



オンライン研修申込について

いよいよ今年度も残りわずかとなりました。4月に入ると、すぐに研修の申込みが始まります。

次年度は【**基本的な研修1~3**】の申込期間が、**4月2日~5日**となっています。期間が短いので、早めの準備をお願いいたします。

【基本的な研修1】は、教職員の経験年数に応じた研修です。今年度中に該当する研修をチェックしておき、次年度が始まったら、研修の申込担当者がすぐに手続きができるように、御協力をお願いいたします。

また、【授業づくり1】**小学校外国語活動研修**、【トピック研修】**算数科少人数指導研修**、【発表会】**教育センター研究発表会**は、4月5日までの申込みになります。ご注意ください。